

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住戸・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能						2.7
Q-1 室内環境			0.40			2.7
1 音環境		2.6	0.15			2.6
1.1 騒音		2.0	0.40			
1 騒音レベル		2.0	1.00			
2 騒音対策						
1.2 遮音		3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60			
2 界遮音性能		3.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						
1.3 吸音		3.0	0.20			
2 温熱環境		2.5	0.35			2.5
2.1 室温制御		4.0	0.50			
1 室温設定		3.0	0.30			
2 湿度調整・湿度制御性						
3 外皮性能		3.0	0.20			
4 ゾーン別制御性	マルチユニット型ヒートポンプ方式	5.0	0.50			
5 遮断・開放制御						
6 断熱性能						
7 開口部遮断						
8 開口部遮断						
9 開口部遮断						
2.2 湿度制御		1.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30			
1 昼光率		3.0	0.60			
2 方位別開口						
3 昼光利用設備		3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30			
1 遮光器具の設置						
2 昼光制御		3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15			
1 照度		3.0	1.00			
2 照度対策						
3.4 照明制御		3.0	0.25			
4 空気質環境		3.1	0.25			3.1
4.1 発生源対策		4.0	0.50			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆を全面的に使用	4.0	1.00			
2 放射線対策						
3 臭気対策						
4 騒音対策						
4.2 換気		2.3	0.30			
1 換気量		3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33			
4 換気設備						
4.3 運用管理		2.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.60			
2 喫煙の制御		1.0	0.50			
Q-2 サービス性能			0.30			2.7
1 機能性		2.6	0.40			2.6
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33			
3 内装計画		3.0	0.33			
2 耐用性・信頼性		2.7	0.31			2.7
2.1 耐震・免震		3.0	0.46			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33			
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.29			
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12			
3 配管・配線材の更新必要間隔		3.0	0.29			
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29			
2.3 適切な更新						
1 内装・設備・外装仕上げ材の更新						
2 配管・配線材の更新						
3 主要設備機器の更新						
2.4 信頼性		1.8	0.19			
1 空調・換気設備		1.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3 電気設備		1.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		1.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.0	0.29	-	3.0
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31	-	-
1 階高のゆとり		階高3750確保 別紙計算式による	4.0	0.60	-	-
2 空間の形状・自由さ			4.0	0.40	-	-
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.31	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-
3 電気配線の更新性			3.0	0.11	-	-
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-
Q-3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-
■ ER-1 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	3.2
LR-1 エネルギー			-	0.40	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制		省エネルギー計画書による	5.0	0.30	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-
3 設備システムの高効率化		省エネルギー計画書による	3.6	0.30	-	3.6
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
4.1 モニタリング			-	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	1.00	-	-
LR-2 資源・マテリアル			-	0.30	-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.15	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-
1 雨水利用システム			3.0	0.67	-	-
2 雑排水利用システム			3.0	0.33	-	-
2 低環境負荷材			3.0	0.85	-	3.0
2.1 資源の再利用効率			3.0	0.45	-	-
1 躯体材料の再利用効率			3.0	0.67	-	-
2 非構造材料の再利用効率			3.0	0.33	-	-
2.2 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-
2.3 有害物質を含まない材料			3.0	0.10	-	-
2.4 既存建築躯体などの再利用			-	-	-	-
2.5 部材の再利用可能性			3.0	0.22	-	-
2.6 フロン・ハロンの回避			3.0	0.22	-	-
1 消火剤		ABC消火器使用	4.0	0.33	-	-
2 断熱材			2.0	0.33	-	-
3 冷媒			3.0	0.33	-	-
LR-3 敷地外環境			-	0.30	-	2.9
1 大気汚染防止		燃焼機器がなく、オール電化建物としている	5.0	0.15	-	6.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.15	-	3.0
2.1 騒音			3.0	0.50	-	-
2.2 振動			3.0	0.50	-	-
2.3 悪臭			-	-	-	-
3 風害、日照障害の抑制			3.0	0.15	-	3.0
3.1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-
3.2 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-
4 光害の抑制			3.0	0.10	-	3.0
5 温熱環境悪化の改善			2.0	0.30	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制			2.3	0.15	-	2.3
6.1 雨水処理負荷抑制			-	-	-	-
6.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-
6.3 交通負荷抑制			3.0	0.33	-	-
6.4 廃棄物処理負荷			1.0	0.33	-	-
■ LR-1 用途別得点表		事務所	-	-	-	面積換分 総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		2073 m ²	-	-	-	5.0
3 設備システムの			-	-	-	3.6
高効率化			-	-	-	-
3.1 空調設備			3.0	-	-	-
3.2 換気設備			5.0	-	-	-
3.3 照明設備			4.0	-	-	-
3.4 給湯設備			-	-	-	-
3.5 昇降機設備			3.0	-	-	-